

# 会 議 録

## 1 会議名

第9回春日区地域協議会

## 2 報告事項（公開・非公開の別）

（1）春日山趣味の家の趣味講座の試行状況について（公開）

（2）第5次上越市行政改革大綱（案）について（公開）

（3）公の施設使用料の見直しについて（公開）

## 3 開催日時

平成26年11月26日（水）午後6時30分から午後8時15分まで

## 4 開催場所

上越文化会館 中会議室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：池杉清子、大竹明德、竹内伊澄、田中実、中島富士一、南雲和子  
橋本桂子、宮崎光雄、宮脇信行、山本紀昭、吉田実、鷲澤和省、  
渡部正由（欠席3人）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 北島センター長、恩田係長、小林主事
- ・高齢者支援課：八木課長、佐藤係長
- ・行政改革推進課：山田副課長、小関主事

## 8 発言の内容

### 1 開 会

#### 【恩田係長】

定刻になりましたので、平成26年度第9回春日区地域協議会を開催いたします。本日の出席人員は、現時点で12名です。飯田委員、長田委員、宮腰委員からは欠席のご連絡

をいただいております。橋本委員からはご連絡をいただいておりますので、後ほどお越しいただけるものと思います。上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、会議が成立することを報告します。はじめに吉田会長からご挨拶を頂きます。よろしく申し上げます。

## 2 会長挨拶

### 【吉田会長】

今日は大変お忙しい中、協議会に来ていただきまして、ありがとうございます。今日は「その他」で、昨日の会長会議の概略と、11月6日に長野に視察研修に行ったわけですが、これについては皆さんの方から行かれなかった委員さんに参考に感想等をお話しいただければと思いますので、議事の進行の途中に各々一言まとめておいていただければと思います。

### 【恩田係長】

それでは、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長から議長をつとめていただきます。

## 3 報告事項

### 【吉田会長】

以降の議事進行を務めて参ります。皆さんのご協力をお願いしたいと思います。午後8時を目途に進めて参りたいと思いますので、よろしく申し上げます。会議録ですが、名簿順では本来は長田委員なのですが、欠席ということですので、竹内委員をお願いしたいと思います。

### (1) 春日山趣味の家の趣味講座の試行状況について

### 【吉田会長】

それでは次第に添って進めて行きます。担当課から説明をお願いします。

### 【高齢者支援課：八木課長】

お疲れ様です。高齢者支援課の課長の八木でございます。担当係長の佐藤でございます。よろしく申し上げます。

—資料に基づき説明—

### 【吉田会長】

ありがとうございます。今の説明に対してご質問などありましたら、お願いします。

**【宮崎委員】**

この間、大豆町内会で寄り合いがありまして、趣味の家へ講座に結構行っていらっしゃる女性の方が、「何で春日山荘になったのか、という理由がハッキリしていない。」「春日山荘は使い勝手が良くない」ということで、私に文句を言ってられました。その辺を、きちっと受講者に今後説明してやってください。

お茶を沸かしてはいけないとか、主婦の方は遅い時間を使いたいそうなのですが、午後4時で終わりになるということですので、そこら辺を説明だけしっかりしてください。

**【高齢者支援課：八木課長】**

宮崎委員からのご質問について、しっかりと対応し、ご説明させていただきたいと思っております。

**【宮崎委員】**

お願いします。

**【吉田会長】**

その他いかがでしょうか。

**【鷺澤委員】**

単純な質問なのですが、いただいた資料の中で平成26年度では趣味の家で20講座、650回開講するという数字が出ておりますが、これは現在もやっているということなのですね。

**【高齢者支援課：八木課長】**

そうです。

**【鷺澤委員】**

それが、来年度からは全て春日山荘のほうに移行するということなのですか。

**【高齢者支援課：八木課長】**

平成26年度は、試行として「春日山趣味の家」を春日山荘へ移管しました。それで今、元の春日山荘の講座に加えて、春日山趣味の家から移行した講座も併せて春日山荘で行っています。

**【鷺澤委員】**

春日山荘で全部やっているということで理解してよいんですね。

【高齢者支援課：八木課長】

そうです。

【鷺澤委員】

ここに書いてあるので、まだやっているのかなと思いました。それを踏まえて、先程使い勝手が悪いという発言がございましたけども、私もそういう話をいくつか聞いております。それから前回の地域協議会の中でも、そういう発言がありましたが、もうちょっと従来通りにいきいきと高齢者が活動できるような場所を設定していただけないかと思えます。是非ご検討していただきたいと思えます。

具体的な方策としてですね、春日山荘には春日地区の高齢者だけではなく、全市的に集まって来ているのはご存知かと思えますけども、町内会館等や全市的に多目的研修センターというのもいくつかございますけども、駐車場さえあればきちっとできるわけですので、そういう所も活用して行けばよいと思えます。

それから今、市議団が空き家条例というのを検討しております。そういった空き家を何とか活用したり、昨日の会長会議でも吉田会長からも高齢者のサロンというような話を提供していただきましたけども、そういった面も含めて趣味の家の講座に空き家や市の空いている施設を活用していただいて、不満を解消していただくことで、お願いしたいと思えます。

【高齢者支援課：八木課長】

貴重なご意見ありがとうございました。まずは、分散開催したらどうかということですが、春日山荘については耐震補強工事を行っておりますけれども、引き続き雨漏りなどがございまして、先程申し上げました平成30年度迄、上越市社会福祉協議会との協議は整っていますが、今後大規模な修繕が見込まれる場合は、その時に協議をすることとしています。

また昨日、会長さんから会長会議でもご提案いただいたという事ですが、高齢者支援課としましては、地域サロンを来年度以降できるだけ多くの会場で開催したい。今後は趣味講座も含めて高齢者の皆さんの居場所作りを進めます。今まさに、第6期の介護保険事業計画を策定している中で、地域の茶の間と申し上げておりますけども、検討させていただ

いております。

また、多目的なという部分では、例えば、八千浦に「はまぐみ」という施設がありますので、そういった公民館施設で趣味講座はどうだろうというような話も、教育委員会と今後詰めていかないといけないだろうと思っております。また、春日山荘は社会福祉協議会の建物でございますけども、バス、タクシーの無料送迎がなくなり、全市の老連さんから「寄りづらくなった」という話が出ているのですが、引き続き市といたしましても、皆さんの意見を聞きながら対応して参りたいと思っております。貴重なご意見、ありがとうございました。

**【吉田会長】**

その他いかがでしょうか。なければ以上でよろしいですか。

**【高齢者支援課：八木課長】**

それでは私ども、次回の地域協議会において諮問をさせていただきたいと思っております。またお伺いさせていただきます。貴重な時間をありがとうございました。

**【吉田会長】**

色々要望等がありましたので、よろしくお願ひします。ありがとうございました。

—高齢者支援課退席—

(2) 第5次上越市行政改革大綱（案）について

(3) 公の施設使用料の見直しについて

**【吉田会長】**

それでは引き続き次第(2)第5次上越市行政改革大綱（案）についてと、(3)公の施設使用料の見直しについて担当課から説明をお願いします。

**【行政改革推進課：山田副課長】**

いつもお世話になっております。行政改革推進課の山田と申します。本日隣におります小関と二人で来させていただきました。今程、会長さんから説明ありました本日二つのテーマについて説明させていただきます。

—資料に基づいて説明—

**【吉田会長】**

ありがとうございました。まずは第5次上越市行政改革大綱（案）について、ご意見ご

質問等ありましたらお願いします。

**【鷺澤委員】**

非常に多岐に渡って計画を立てられて、非常にご苦労だと思います。この間、資料を全部見ましたが、読んでもなかなか分からない表現がいくつかあります。それで、初歩的な質問になるかもしれませんが、ご勘弁いただきたいと思います。まず、協議会説明資料2ページ目の一番下のところ、平成26年1月～2月に計画の策定、公表となっていますが、平成27年ではないですか。

**【行政改革推進課：山田副課長】**

平成26年の記載は誤りであり、平成27年に訂正してください。

**【鷺澤委員】**

使用料についてご説明がありましたが、例えば春日謙信交流館の、収入と維持費の違いが非常に大きいということが分かって、それを市民の税負担の解消等のために対応されるようすけども、市全体として維持管理費というのは現在どのくらい支出されているのか。それから雑収入を抜いた収入はどのくらいの違いがあるのか、市全体としてどうなのかを教えてください。

**【行政改革推進課：山田副課長】**

今回の見直し対象とする体育施設と集会施設の方で数字を申しますと、約19億円です。

**【鷺澤委員】**

それは、維持管理費ということですか。19億円は。

**【行政改革推進課：山田副課長】**

はい。

**【鷺澤委員】**

それに対して、施設利用者からの収入はいくらですか。

**【行政改革推進課：山田副課長】**

使用料の収入が約2億円です。

**【鷺澤委員】**

概算は分かりましたけども、試算では上限を1.5倍として使用料を上げる施設が多いようすけども、増額した場合に試算ではそれがどのように変化していく予定でしょう

か。

それから、行革大綱の文章を見ていると、平成30年度頃から、色んな施設の改修費がもの凄く増えて行くんですね。具体的には来年27年度から少しずつ増えて行きますけど、極端に増えるのは平成30年度から。まさに市が財政赤字になりそうだという状況の時から、どんと耐用年数が過ぎて改修費用が増えていくのですけれども、その辺をどの様に対応をしよう于行革として考えておられるのか、お聞かせいただければありがたいと思います。

**【行政改革推進課：山田副課長】**

最初のご質問の試算についてですが、5、6千万円位になるのではないかと思います。ただし、だいぶ前のたたき台の時点で試算したものですから、今の状態は改めて試算してみないと分かりません。それから、減免制度の見直しも併せて行うのですが、その影響を試算していないので、減免制度の効果で収入の増加が図られるのかと思います。

2点目の平成30年度からの改修費についてですが、施設の老朽化ということは、上越市だけの課題ではございません。全国的に法定耐用年数の最終年を迎えるというような施設が続々と出てきます。国では県も含めた各自治体で公共施設等総合管理計画を作りなさい。個々の施設について、いつ点検して修繕するのか策定しなさいという指示が出ております。作成年度は平成28年度までに作るようになっております。上越市の対応としましては、当然国の指示に従って平成27年度から28年度にかけて、これから作業を進めていくわけなのですが、今ほど939の施設があると申し上げたのですが、箱モノの他に公園や道路、橋などのインフラ系も含めると、27年度は厳しいかなと思うのですけれども、進めていきたいと考えております。

**【鷺澤委員】**

5、6千万円の収入増だということですが、修繕管理費、維持費がもっと増大してきますので、行革大綱の中の言葉を使うと、効果額と言うのは厳しい状況になるという具合に考えて対応されるということですね。

**【宮崎委員】**

私の地区の会館も新しくしたために、町外の利用者が結構増えているのですが、市民以外の利用者の捉え方を教えていただければ参考にしたいなと思うのですが。というのは、

使用する人も頭が良くて、町内会の誰かを代表者にして使うと無料になるので、同好会的なもの、少年野球だとか民謡の大会だとかなのですが、そこら辺をどうやって捉えればいいのか教えてください。

**【行政改革推進課：山田副課長】**

悩ましいところです。市の施設でも、市内の人の名前を使って申請する事例があることは聞いています。この件については、今月設置した減免基準見直しに関する懇談会でも委員の皆さんからも、今後検討していただけることと思います。現在、考えているのは、申請書の住所で判断するという方法です。窓口の人の事務の手間を考えると、一番分かりやすい。ただし、団体の構成員や団体の予算書など、そういったところまで突き詰めていくと、市内か市外かを明確に分けられると思います。あまり参考になりませんか…。

**【吉田会長】**

施設利用料に絡む話も少し出ていますので、施設利用料金の値上げの話も含めて何か意見、ご質問あればお願いします。

**【渡部委員】**

施設料金の見直しということで、私もゲートボールを週に3回ほど行っているのですが、施設も非常に古くなっているということで、段々ゲートボールの人口も減ってきているということも伴って、これ以上の施設の整備はできないと聞いたのですが、その点についてはいかがでしょうか。

**【行政改革推進課：山田副課長】**

施設設備の更新の見込みということでしょうか。

**【渡部委員】**

そうですね。

**【行政改革推進課：山田副課長】**

施設の統廃合も併せて今検討しておりますが、その中には過剰となっている施設もあるものですから、そうは言っても、どういうふうにして減らしていくのかということなのですけれども、例えばそれぞれの地域に1つずつとか、そうした上である程度の多めの方が集まる施設を除いて縮小させる。それは、ゲートボールに限ったことではないのですが、今考えて進めています。



今の施設を全てそのまま維持していくということは難しいのかなというのが、基本的な考えですので、残すとしたらそのようにさせていただくという考えです。

**【池杉委員】**

市外の方の利用を200パーセントというのは、やむを得ないのかなというところはあるのですが、妙高市や糸魚川市は上越エリアですよ。そういう人達が影響を受けることになると思うのですが、反対に妙高市や糸魚川市では、どんなことをしているのかご存知ですか。もしご存知でしたら教えてください。

**【行政改革推進課：山田副課長】**

妙高市は200パーセントです。糸魚川市は事前の資料、データがありません。参考までに柏崎市は150から200パーセント、十日町市は150パーセントというようになっています。

**【鷺澤委員】**

1点目ですけど、先程、維持管理費と収入等についてお聞きしました。これから財政的にも非常に厳しい状況が予想されるということが、よく分かりました。そういう中で、今、全市的な話題になっています、仮称厚生産業会館について、高田地区協議会では諮問を受けて、それに対して反対であると、考え直して欲しいという答申を出したようです。私自身の中間的な立場から意見を申しますと、厚生産業会館については、ホールは他の施設もありますし、子育て施設は市民プラザがあります。公民館については、町内会館とか多目的研修センターもあります。又、空き家条例等も検討されていますので、そういうものも活用していけば、現状でやっていける状況だと考えています。

仮称厚生産業会館の稼働率、利用率が悪ければ、市の赤字というのはもっとも増えていくわけですよ。仮称厚生産業会館は立地条件など様々な問題がある中で、行政改革推進の観点から、これを作る意味はどの辺にあるのか、是非教えてもらいたいと思います。

**【吉田会長】**

お答えいただける範囲でお願いします。

**【行政改革推進課：山田副課長】**

行革の観点からのお話でしたら、行革というのはどんどん切り捨てて縮小していくとい

ったものが行革ではありません。そういう中で厚生産業会館というのは必要なかどうか、というところですが、市としては必要だと判断したものです。色々な市民の声を聞いたり、あるいは現状を見たりして、子育てスペースの必要性の話も仰いましたが、そういったところも団体の意見を踏まえた上で方向性を出したものであり、これは行革の観点から必要とか必要ではないということではなくて、一人一人の市民がどのように判断するかということだと思えます。

**【鷺澤委員】**

大きい問題ですので、もっと上の段階でないと判断できないと思えますけども、一応市が建設するという方向については確認しております。ただ、私自身、行革という観点から考えると、ダブった施設という面が非常に大きいものがあるし、他の施設等を活用して、対応できるのじゃないかと思えます。それから、高田公園の史跡という面からも、あそこにどうかという様なこともありますけども、副課長としてのお考えは分かりましたので、いろいろな機会を通じて、これからそれについて考えていきたいと思えます。

2点目ですが、第4次でも第5次の行革でもそうですけど、職員の意識の変革、あるいは職員がもっとやる気を出してやっていかなければできないのだというようなことで、取り組みの重要項目として、31ページにも、決意表明が書かれているのですけれども、色々な行政改革とかまちづくりの市民アンケートとかを見ますと、多くの市民は財源の有効活用が行革の第一歩だと。それから、財政の健全化、職員の意識の改革が必要だという声が、上位3位位になっているのは、ご存知かと思えます。私はいつも思いますが、私も行政の立場にいたものですから、はっきり言って行政というのは縦社会なのですよね。上の人の言う事は絶対なのですよね。上司の考え方を重視して、本当に市民の立場に立った行革ができるのかどうかということが、非常に疑問に思っています。実際には、そういうことをやるんだと文章でも目指していくということが決意だというのは分かるのですけれども、「目指していくことが必要です」と行政文章で書いてあります。最後に副課長の立場で結構ですから、決意表明を伺いたいと考えます。

**【行政改革推進課：山田副課長】**

村山市長は、県の職員時代に色々な課を渡り歩いて調整するというような部署に所属していたことがあって、いわゆる横串を刺すという役割をしていたそうです。市長自身がそ

ういう立場にいたものですから、横串というのは重要だということを認識していて、職員が市長と協議をする場面において、常日頃から、横串の大切さを言われています。今の財政計画では平成32年度は70億円の収支赤字だと出ております。これを埋める事が至上命令です。そのためには職員が一丸となってやらざるを得ない、そういう意味で職員全員に強い決意を持ってもらいたいということで、行政改革推進課として、最後の1ページにそういった文章を入れました。全庁を引っ張っていくという立場、私どもの方でしっかりとリードして行きたいと考えております。よろしいでしょうか。

#### 【鷺澤委員】

予想される赤字額を減らしていくということがよく分かりました。どうして私がそういう質問をしたかと言いますと、今、ガス水道局の談合疑惑が大きな問題になっております。私もそういった談合問題に関わってきたものですから、行政の運用でガス水道局は入札の発注方法を変えました。すぐできるんです。市長部局でも基本的には少し変えれば、3パーセントから4パーセントの行革が進むという状況があります。8月25日の入札監視委員会も傍聴しましたが、12月の間に委員の意見を中間でまとめて、入札のあり方についてやりましょうと言っていました。会議の開催の計画がまだないのです。そういう無駄使いを止めようという動きが行政として見られないものですから、そういう質問をさせていただきました。是非、出来るところから早急に無駄を省いていっていただきたいと、一市民としては考えておりますので、よろしくをお願いします。

#### 【吉田会長】

まとめということで私から発言させていただきますが、今回の施設の利用料金の値上げ、補助金の見直し、非常にネガティブな内容も多々あると思うのですが、環境が変わって来ていて、来年には北陸新幹線も開通しますので、市の収入として観光収入の増額も見込まれたりして、明るい夢のある展望…。厚生産業会館も色々な市民が関心を持っていますので、どうせやるならそれをいかに有効に使うか、効率よく施設運営していくかというところを市民に見せていただきたいと思います。市民から上越市の行政はしっかりしているというような評価をいただけるような形で行革を進めていただければと思います。今日は、ありがとうございました。

—行政改革推進課退席—

#### 4 その他

##### ・委員視察研修について

###### 【吉田会長】

まず、委員視察研修について、感想をお話したいと思います。

私を含め、8人が参加しました。“おやき”で有名な小川の庄は、会社組織の事業として、お客様が“おやき”を焼いているのを見学したり、食事もできるということでした。非常にお年寄りも活躍されていますので、上越市の地域づくりの参考になるかなと思っています。もう1か所は中野市の生産組合で、おばさん達が共同で生産販売をしていました。両方とも意外と年配の方が活躍されているということでした。上越に何もなければ、規模の大小は違いますが、笹寿司作ったりして色々チャレンジしているところもあるので、これから来年は東京方面や関西方面などの観光客も色々と来られますので、それをもてなすための名産をどんどん売りこんで行くのもよいかと思います。春日区で絞って言えば、来られたかたの「おもてなし」をどうするかということも大切だと思います。

皆さんからも、一言ずつでよいのですが、感想をお願いします。

###### 【渡部委員】

とにかく女性の方が地域を守っている、発展させてきた。地道な活動が今現在に結びついたということかと思います。

###### 【吉田会長】

初期は補助金とか上手く使われているんですね。だから最初の活動で継続されているということですね。

###### 【鷺澤委員】

バスの中でも申し上げましたが、高齢者が中心になって活性化していく、あるいは自分達の生き甲斐作りを具体的にやっているという点で、今後の地域協議会のあり方ですとか、活性化のあり方について勉強になったと思います。今一番心配しているのは、地震の被害がどうなっているかということで、私の地元の隣村ですので、小川村でも被害が出ているようですし、長野市でも被害が出ている様ですので、すぐに電話したところ、知り合いには被害がなかったということでしたが、地震が非常に心配です。ただ、とても勉強にはな

りました。

**【南雲委員】**

私も地震のことは心配していました。あんなに高い所で地震はどうなったんだろうかなと思ってはいますが、今日来たら市役所の人から何か聞けるかなと思って来たのですけれど…。

**【恩田係長】**

小川の庄さんのホームページを見ましたところ、商品が落下したりして被害が少しあったようですが、建物が倒壊したり負傷された方がいたというような大きな被害は出ていないそうです。ただ、あのような狭い道を上がっていった所にありますから、お客様の安全のため、少しの間休業されるということです。今週末か来週には再開されると思われます。もしよろしければ、皆さんも小川の庄さんのホームページをご覧くださいと思います。

**【南雲委員】**

分かりました。白馬村の知り合いに電話したら避難して、日中は片づけしていると言っていましたので、どうなのかなと思っていました。小川の庄さんの従業員は平均年齢56歳で、19歳から86歳までの方達が74人全部正社員で働いているというのは、凄く印象的でした。

**【中島委員】**

言おうと思っていることは皆さんに言われたので、これとって言うことはないのですが、やはり、震災でどのくらいの被害がでたのかなというのは心配でした。

**【田中委員】**

バスの中でも話しましたが、貪欲な商売のやり方。五代夏子がNHKでまた撮影に行っていました、そういうのも商売の1つかなと思いました。

**【竹内委員】**

私が一番思ったことは、無いことを嘆くのではなくて、有る物を全面に出してやるということは凄く素晴らしいなと思いました。発想の転換ですよ。建物も、縄文おやきという名前のとおり、縄文式の竪穴式住居を使って、その中で実際におやきを作って囲炉裏ばたで焼く…。素晴らしいと思いました。

私はせっかくこの上杉謙信のお膝元に居て、謙信の武家屋敷みたいなものがあれば、凄

くPRのポイントになって良いのじゃないかなと思いました。私達、春日山に居てどうやってPRをしているのかなと恥ずかしいような気分になりました。それと、凄くPRが上手で、アメリカにも皆で行って、“おやき”を宣伝してきたという話も聞きました。

行ったら、すぐに注文書が出てきて、「注文してください。その間に作っておきますから」と言われました。そして、皆さんとっても優しいんですね、全員が注文しました。その“おやき”をお土産に持って帰ったら、「今迄に食べた“おやき”は不味くてあまり食べたくなかった。でも、この“おやき”は美味しかった。」と言われました。小川の庄の代表の方が胸を張って宣伝されるだけのものと思いました。2つ目の豊田のお母様のお店は、商売が上手くて、座ったら直ぐに「注文を書いてください」とお話をされるんです。バイタリティーが凄いなと感じました。もう1つ追加で、帰りに新幹線の飯山駅で、まだ一般の方には入っていない様な所も見学させていただいて、とても良かったです。ありがとうございました。

#### 【大竹委員】

“おやき”という普段当たり前の食べ物を、やり方次第で特産物にして地域おこしに貢献しているということは素晴らしいことだと思いました。春日山も普通我々が思っている、外から見た目ではこれはいけるという様なものもあるんじゃないかなというふうに思いました。春日山の、これはというものをこれから探していきたいと思っています。

#### 【吉田会長】

今回残念ながら参加できなかった方は、また来年度になるかと思しますので、また行きたい所、研修したい所など、色々な機会に要望していただければと思います。

次に、昨日、地域協議会の会長会議がございました。まず、来年度の地域活動支援事業のあり方の話がございました。まず、予算の総額が1億8,000万です。これについては、今年度と多分同じくらいだろうということ。それから、採択ルールも今年度とほぼ同様な形でいくでしょうというお話でした。予算配分はこれから決まりますので、一応予測ということですね。それから、色々な地域活動支援事業に関して会長さん方からの問題提起の色々な意見とか、参考の事例等の話がございました。少し掻い摘んで例えばなのですが、私達の採択しているサロン活動の取組みの事例もありましたし、それから高齢者の方で免許を返上してかたもいらっしゃるのかもしれないですけど、高土区のほうで月1回、

地域で車を出して、お年寄りを買い物に連れて行ってあげている、ということで好評だということで、少子高齢化に絡んだような話。それから、LED照明を支援事業として採択して、7割くらいLED化したとかいう区もありました。ただし、これからは市の補助事業として進めるそうなので、支援事業としては出て来ないという形になるだろうという様な話がございました。やはり地域活動支援事業ですので、採択に対する苦労話みたいなのも、その後の懇親会でありました。予算がいっぱいで、不採択にしなければいけない苦渋の決断をされている委員さんもいました。

私からは、「上越デザインマーケット」「青苧の会」は、色んな方が集まってイベントされている所は区内でイベントをされている関係もあってこちらで予算を採択したのですが、そういう全市に跨る様な、または他の区とも跨る様な事業についての扱いもまた考えてくださいとお願いをしておきました。他の会長さんで取り違えられて「地域を賑やかすイベントならよいじゃないか。」ということで仰ったんですけど、ちょっと私の趣旨と違ったかなというふうに思います。

また、こういった問題などがあれば、私達の中で解決出来ることについては来年度に備えてディスカッションしていくことになると思いますので、今年の反省についてまた各委員さんに考えていただきたいなと思います。センター長、何か補足ありますか。

**【北島センター長】**

会長からお話いただきましたので…。まだ、予算の段階で確定ではないので。内容については変更ないということですので、よろしくお願ひします。資料の方をご覧ください。

**【吉田会長】**

地域活動支援事業については、よりよい方向へ持っていきたいというふうに思いますので、よろしくお願ひします。事務局から何かありますか。

**【恩田係長】**

次回会議の日程をお決めていただきたいと思いますが、今回は、こどもの家と春日山趣味の家の廃止の諮問。また、公の施設の使用料の見直しの諮問が見込まれます。開催時期は、12月22日以降から1月中旬の間で開催いただきたいと思います。

・次回の開催日について

**【吉田会長】**

皆さんの方で日程の希望はありますでしょうか。

—日程調整—

**【吉田会長】**

それでは、次回会議は1月14日に開催します。本日も時間があれば自主審議事項をやりたいなと思ったのですが、次回も難しい気がします、優先議題を消化して時間がありましたら自主審議に少しでも時間がとれればというふうに思っています。新年度になると地域活動支援事業の審議が始まりますので、上手く調整したいと思います。

**【鷺澤委員】**

日程的にそれぞれのご事情がありますので尊重しますが、過去3年間、自主審議事項という地域の活性化のための審議事項というのは重要だということは各委員共通の理解だと思うんですね。諮問事項も大事ですが、この諮問事項を1月にやれば、もう2月3月になると採択方針などの支援事業の内容について入って行って、また3年目も駄目で、4年目の1年でやれなんていうことは、とてもじゃないけど出来ないわけですので。日程的に無理ならば仕方ないですが、地域協議会の本来の目的をやる様な方向で是非、ご検討いただければと思います。

5 閉会

**【吉田会長】**

今回は、少しでも時間が取れればというふうに思います。それでは、以上で協議会を終了します。お疲れ様でした。

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。